



お約束

- 待機児をゼロに
認可保育園増設と保育士を大幅増員
- 調布地域に特養ホーム増設
この4年間で区内5か所に増設できました。
さらに、調布地域にも
- 75歳以上の医療費ゼロ
- 国民健康保険料の値下げ
- 都営・区営住宅の増設
- 「荏原病院」の充実
- 池上線の駅にホームドアを
- 呑川のユスリカ対策の充実
- 憲法9条を守りぬきます
東京23区で大田区だけが使っている「日本の戦争は正しかった」とする育鵬社の中学校教科書は、今年の採択であらためさせます

躍進した日本共産党
国民と力合わせて

ストップ!
安倍暴走政治

- 消費税10% NO!
- 「戦争する国づくり」は許しません
- 国民の暮らしをあたため日本経済の再生を
- 原発ゼロ、再稼働 NO!
- 沖縄の米軍新基地建設は中止を

福井りょうじの生い立ち

福井りょうじさんは、1974年、大田区池上生まれ。当時の革新都政の美濃部亮吉知事の名前を取り「亮二」と名付けられました。

少年・青年活動のリーダーとして

中学・高校の部活はバレーボールやサッカーなど。大田区のジュニアリーダー育成に参加し、キャンプやハイキングのリーダーとして活動。みんなが力を合わせることや仲間の大切さを学びました。

この活動を見ていた人たちの推せんで、20歳の時、大田区で初めての新成人の手による「成人のつどい」実行委員になりました。

戦時中、祖父を亡くし苦勞した祖母や父

福井さんのお父さんは戦時中、3歳で父親を亡くし、母子家庭で大変な苦勞をして育ちました。お祖母さんが亡くなる直前に「今まで苦勞かけてすまなかった」とお父さんに話した言葉を聞き、「悪いのは祖母ではない。戦争ではないか」と福井さんは思いました。

戦争反対をうめく日本共産党に入党

26歳の時、かち佳代子都議の選挙を手伝ったこと、共産党員の父母の生き方を見て、「侵略戦争に一貫して反対してきた」日本共産党に入党。

なんととしても憲法9条を守りぬきたいと、区議会議員に挑戦、2011年初当選しました。

暮らしと平和を守るために



引きつづき全力でがんばります

区議会に送り出していただき4年がたちました。この間、みなさんから地域の問題や生活相談が寄せられるとき、いつも心がけているのは「区民に寄りそう」ことです。そして、解決の道が開けたときの「ありがとう」の言葉に、私自身も励まされてきました。

いま、安倍政権の暴走のもとで「戦争だけは絶対にだめ」「もう暮らしの我慢も限界です」という声にたくさん出会います。

いまこそ、「住民の暮らし、福祉、命を守る自治体本来の役割を果たす大田区政に」の思いをますます強めています。二人の子を持つ親として、憲法9条を守りぬき、子どもたちを絶対に戦場に送らない決意です。いっそうのご支援、ご協力をお願いします。

区議会議員 福井りょうじ

一期目とは思えない大活躍



福井りょうじさんは一期目とは思えない大活躍で区民の願いを実現しています。引き続きご支援を、私からもお願いします。

都議会議員 かち佳代子

日本共産党

暮らしを守る防波堤
区民の声を
まっすぐ区政に

福井りょうじ

区議会議員

走る身近な相談相手
2児のパパ 子育て支援に全力

お気軽に、ご相談・ご意見・ご感想をお寄せ下さい

大田区東雪谷3-19-15 電話 03-3728-8115 FAX 03-3728-8270
ホームページ: “福井りょうじ” で検索 メール: fukui@jcp-fukui.net

日本共産党大田地区委員会の見解を紹介します。

大田民報

2015年 4月号外
発行 大田民報社
大田区北馬込1-4-12 佐藤勲方



成人のつどい実行委員。左から3人目

身近な町でも

区民に寄りそい 全力疾走の4年間 みなさんとともに実現 — 福井りょうじさん



区政を動かし



エレベーター

エスカレーター

JR・東急に
申し入れ8回

五反田駅JR・東急連絡通路 エスカレーターエレベーター実現

五反田駅連絡通路は高低差7m、40段の階段。福井さんの知人はラッシュ時に背中を押され転倒、頭を17針も縫う大ケガをしました。成人男性でも恐怖を

覚える階段で、バリアフリー化を望む声は多く上がっていました。初めてのJR東日本への申し入れは2003年。衆議院議員秘書として、かち佳代子都議や住民のみなさんと一緒に、ベビーカーを抱えたお母さんの姿、高齢者や障害者のみなさんの切実な声を伝えました。当初は、04年度工事着工、完成との回答でしたが、五反田駅前の再開発などで、遅れに遅れていました。この間、申し入れはJR東日本、東急電鉄にたいし8回に及び、議会での初質問でも取り上げました。以来11年、ついにエレベーター・エスカレーターがつかまりました。

「僕たち家族が元気になれた」

2人の子を持つ母子家庭のAさんから「昼間はスーパー、夜は清掃のダブルワーク。それでも暮らしがままならない。区に相談しても『もっと収入のある仕事に変えたら』と言われた。もう限界です」と電話がありました。福井りょうじさんは直ちにAさん宅を訪問、涙ながらの話をじっくり聞きました。そして「東京都の女性チャレンジの制度で、保育士になる道があります。資格を取る間は生活費もです」と助言しました。

Aさんは、一年後に保育士として就職し、元気に働いています。

▼Aさんの子どもさん（中学生）から届いた手紙です

お母さんが泣きながら今の大変さや将来の不安を話していた時、僕はお母さんに迷惑をかけているのではないかと悲しい気持ちになりました。でも、福井先生がお母さんに言った言葉で「大丈夫ですよ。よく頑張ってくださいね」とも頑張らなくてもいいんですよ」といって人がいるんだと驚きました。福井先生と出会ってからお母さんが変わった気がします。今までは2つの仕事を抱えて、口癖は「早くしなさい」と「疲れた」で、あまり話をきりでしたが、今は一緒に夜食をする時いろいろ話をしてくれます。僕たち家族が元気になるのは先生と出会ったからだと思っています。と僕たちのような母子家庭でも元気になるて困っている人を助けたいです。

ママパパと力あわせ調布地域で実現 認可保育園8園

調布地域は区内でも保育園待機児が一番多い地域です。2児のママ・福井りょうじさんは、多くのママパパと熱い思いをともにして、「待機児解消は認可保育園の増設でこそ」と繰り返し提案。区や他党の「認可保育園は不要。認証保育園で」との流れを変え、この4年間で、調布地域で8園、区内で21園の認可保育園増設が実現しました。

往原病院の分娩再開で

区議になる前から再開を要求。年間約300人の赤ちゃんが誕生しています。

福井さんは保育園の送迎時に一緒に話しかけています。本当に子どもを大切にしているんだなと思います。そんな福井さんだから、しっかりした子育て支援をしてくれると思います。子どもたちのために頑張ってください。仲池上在住一園児の母

安全・安心のまちに

上池台ゲリラ豪雨対策

ゲリラ豪雨で浸水被害が出る上池台3・5丁目。福井さんは、区議会質問や区長への予算要望で対策を求めてきました。

都が最重点対策・時間雨量75mm対応計画に指定、2019年度までに稼働の予定です。

放射能から子どもを守る

東日本大震災・原発事故では、福井さんは区より早く、住民とともに地域の放射線量を独自に200か所以上で測定。区にホットスポットの除染もさせました。保育園や学校の給食食材の安全確認も実施されました。



石川町公社住宅で放射線量測定

若者が働きやすい社会に

長時間・過密労働・職場のパワハラやセクハラ・ブラック企業…労働組合や弁護士たちと日本共産党の連携で改善の動きが出てきました。

日本共産党と福井りょうじさんに、ぜひ、引き続き頑張ってもらいたい。



東京法律事務所
首都圏青年ユニオン顧問
弁護士 笹山尚人

◀駐輪所を御嶽山駅・久が原駅・石川台駅に設置・増設
◀千鳥2丁目の交差点の事故対策。カラー塗装と注意看板の設置



▶呑川のユスリカ対策。清掃回数を年43回に増やし、捕虫器も設置



▶新幹線上池ガード下のハトのフン害対策。（ハトの進入口封鎖）